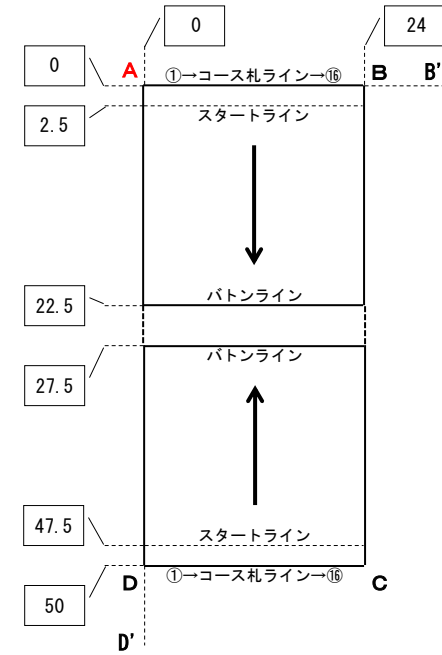


競技審判マニュアル改正点一覧表(2011.05.28)

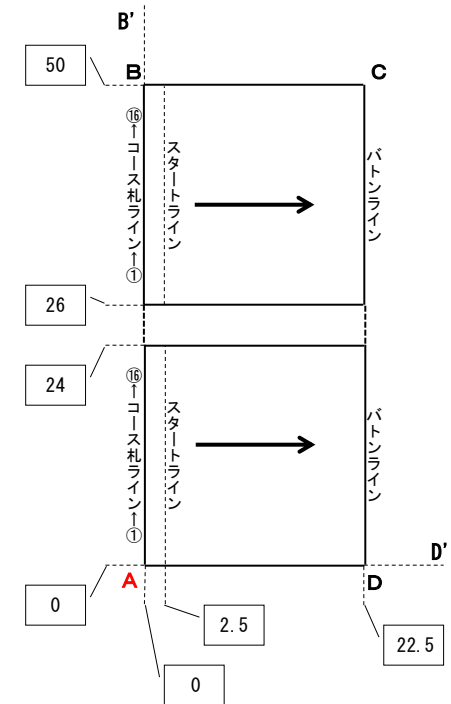
No	項目・競技種目	改正前	改正後
13	ビーチフラッグス	<p>P67.13 ビーチフラッグス(Beach Flags)</p> <p>(1) 審判の必要人数</p> <p>P19.③ビーチ種目審判員の配置参照。</p> <p>P69.</p> <p>⑨バトンライン前後の砂ほぐし(スコップ使用)、エリア内のビーチクリーン、トンボかけを行う。</p> <p>P67</p> <p>(4) 手 順 (コースの設営)</p>	<p><変更>P67. 13 ビーチフラッグス (Beach Flags)</p> <p>P66</p> <p>(2) 使用する用具</p> <p>①緑旗 2本</p> <p>②バトン 1セット</p> <p>③コース札 1セット</p> <p>④ロープ 2本 (スタート用1本 バトン用1本)</p> <p>※プリズムで設営の場合上記に加え</p> <p>⑦プリズム 1個</p> <p>⑧ポール 3本</p> <p>P67</p> <p>(4) 手 順 (コースの設営)</p> <p>ビーチフラッグスエリアの設営例 (16 コースを想定。四角の中の数字は単位 : m)</p> <div data-bbox="1348 842 2105 1375" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【図1】 エリア1面 ※状況によってはA～Dの位置関係は変わる。</p> </div>

【図2】 エリア2面 ※各エリアから中央に向かって走る場合。



【図3】 エリア2面

※エリア全体に傾斜がある場合。スタートラインからバトンラインに向かって上りになるように設営するのが一般的。



【メジャー設営の場合】

① チーフジャッジは、次の4点についてセクショナルレフリーに確認する。

P68

⑦位置取りが決まったら、オーシャン競技規則にしたがってコース札を立てる。両端は0.75m ずつ取ってから、1.5m 間隔でコース札を立てる。

①チーフジャッジは、次の4点についてセクショナルレフリーに確認する。

P68

⑦位置取りが決まったら、コース番号のつけ方にしたがって(〔例〕海側から 1 コースなど)コース札を立てる。両端は0.75m ずつ取ってから、1.5m 間隔でコース札を立てる。

P69

⑨バトンライン前後の砂ほぐし（スコップ使用）、エリア内のビーチクリーン、トンボかけを行う。

P69

⑨バトンライン前後の砂をほぐし（スコップ使用）、エリア内のビーチクリーン、トンボかけを行う。

【プリズム設置の場合】

①チーフジャッジは、次の4点についてセクショナルレフリーに確認する。

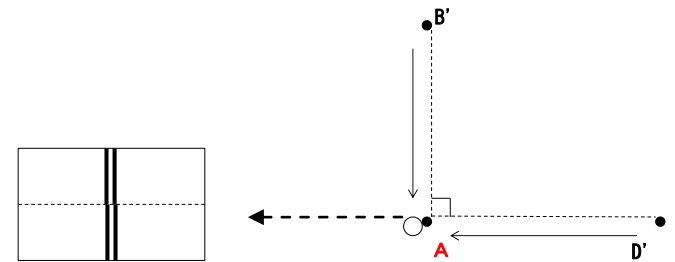
- 1 競技エリアの設置面数
- 2 競技エリアの位置
- 3 スタートラインの位置
- 4 設置コース数

②メジャー2個、プリズム、ポール3本を使って、「直角」を作る（以下、エリア設置面数を問わない共通の作業）。（図1参照）

1. まず基点Aを決め、垂直（鉛直）にポールを立てる。
2. コース札を立てるラインA-B'を決める。（競技エリアに即した形）
3. 基点のポールにプリズムをしっかりと密着させた状態でのぞき、中段にB'のポールが見えるように位置し、上段にD'のポールが見えるように設置する。中段上段に見えたポールが一直線になるようD'を調整する。

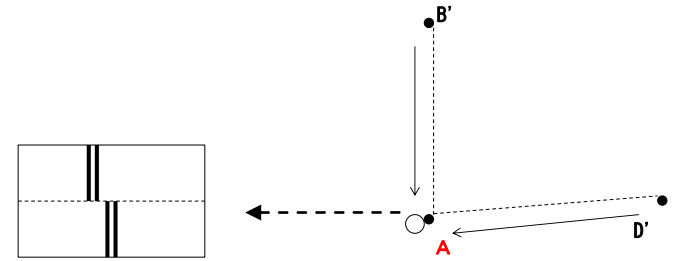
A・B'・D'の位置関係による、プリズムの見え方の違い

【図4】 $\angle B'AD' \approx 90^\circ$ となっているとき



プリズムをのぞくと、B'とD'のポールが、ほぼ縦一直線に並んで見える。

【図5】 $\angle B'AD' \neq 90^\circ$ となっていないとき



プリズムをのぞくと、 B' と D' のポール
がずれて見える。

4. 基点からの距離が設定通りになるようにメジャーで計測しながら、 B と D を決め、ペグでマーキングする。
5. $A-B$ 間や $A-D$ 間に必要な位置取りをして、メジャーで計測し、ペグでマーキングする。
6. C の位置を決めるために、 B のポールにプリズムをしっかりと密着させた状態でのぞき、中段に A のポールが見えるように位置し、下段に C のポールが見えるように設置する。中段下段に見えたポールが一直線になるよう C を調整する。
7. $C-B$ 間や $C-D$ 間についても同様に、メジャーで計測しながら必要な位置取りをして、ペグでマーキングする。

③位置取りが決まったら、オーシャン競技規則にしたがって、コース札を立てる。 $A \cdot B$ それぞれ、両端は0.75mずつ空けて、1.5m間隔でコース札を立てる。

④緑旗、スタート側ロープ、バトン側ロープを設置する。特に緑旗は、競技者のスタート時やロープを張る審判員（補助員）の妨げにならないように設置する。

⑤バトンライン前後の砂をほぐし（スコップ使用）、エリア内のビーチクリーン、トンボかけを行う。

【コース札を立てるときのメジャーの目盛り読み】

0m	$\frac{1 \text{ コース}}{0.75\text{m}}$	2.25m	3.75m	5.25m	6.75m	8.25m	9.75m
11.25m	12.75m	14.25m	15.75m	17.25m	18.75m	20.25m	$\frac{15 \text{ コース}}{21.75\text{m}}$
→	22.5m						
→	$\frac{16 \text{ コース}}{23.25\text{m}}$	24m					